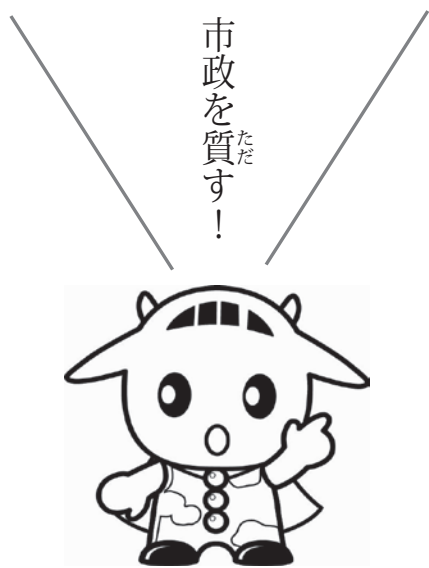


一般質問します！



皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

【質問者 11 名】 質問 30 項目 【質問順】

- P 6 鈴木 俊一 議員
- P 7 小川 賢治 議員
- 谷仲 和雄 議員
- P 8 福島 ヤヨヒ 議員
- 石井 旭 議員
- P 9 長島 幸男 議員
- 戸田 見成 議員
- P10 植木 弘子 議員
- 村田 春樹 議員
- P11 幡谷 好文 議員
- 木村 喜一 議員

ダイヤモンドシティ・プロジェクトの進捗は

少しでも人口減少の歯止めとなるよう推進する



鈴木 俊一

Q 頑張るシニア層応援事業は。

A 企画財政部長 高齢者の雇用を確保・推進することとして、専門性を持った生産性のよい農業法人の誘致を実施できるか、検証していく。

Q 女性定住支援事業は。

A 企画財政部長 女性用にリニューアルされた住居や仕事の紹介と包括的なサービスが必要なため、現時点では実施に至っていない。

Q ヨーグルトサミットの効果検証は。

A 企画財政部長 シャトルバスでは、1日目が1万3千人、2日目が1万4千人を輸送した。これから調査研究をしていく。

Q 小美玉市が考える企業誘致とは。

A 産業経済部長 市が取り組んできたまちづくりの一環によって、企業が小美玉市に立地されたものも企業誘致に近いものがあると考えている。

Q 市外に居住する市職員へのアンケート調査をしてみても。

A 企画財政部長 個人情報取り扱いなど繊細な部分もあるので、慎重に検討していく。

Q 数値化、見える化、わかる化を推進するため、複式簿記、発生主義の公会計を導入しては。

A 企画財政部長 統一基準による作成が、総務省主導で進められている、公会計制度の成熟度を高めていく過程にあるので、固定資産台帳データを行政改革の資料として活用していく。

Q 電子化した地域通貨を流通させることが、小美玉市の経済の活性化をすることに繋がっていく、これを来年度、プレミアム商品券を電子化したもので発行できるか。

A 産業経済部長 今後、キャッシュレス決済システムは普及していくものと感じている。利用者や店舗の立場に立った視点で、商工会と協議検討していく。



(仮称) 石岡小美玉スマートICアクセス道路工事の進捗状況は

全線にわたり地盤改良、道路改良工事、橋梁工事を実施

小川 賢治

小美玉市第2次総合計画重点施策について

Q 「情報発信によるシティプロモーション」の現状と課題、進捗状況は。

A 企画財政部長 「住みよさランキング」本市は2016年度は370位、2018年度は415位であった。「シティプロモーション」を設置し、地域参画総量を増すため、協働誘発、情報編集、メディア活用について支援促進していく。

Q 本市の存在感を高める広報の進捗は。

A 企画財政部長 「ローカルフォトスクール」事業に取り組んでいる。市民がカメラを持って市民記者となり、地域の人を取材している。

道路体系・公共交通の充実について

Q 国道6号バイパス・国道355号バイパスの早期完成の要望状況は。

A 都市建設部長 建設促進期成会による国道6号

美野里バイパス整備促進等の要望を国土交通省などへ8月に実施。また、11月には、石岡市・茨城町とともに小美玉市区間の国道6号の早期都市計画決定等の要望活動を国土交通大臣や茨城県知事に実施した。

Q (仮称) 石岡小美玉スマートICアクセス道路工事の進捗状況は。

A 都市建設部長 用地買収は、地権者の皆様のご協力をいただき、全ての契約を締結した。全線にわたり地盤改良、道路改良工事や橋梁・ボックスカルバート工事をしており、早期開通を目指している。



▲整備が進む(仮称)石岡小美玉スマートICアクセス道路(大谷地内)

2019年度予算編成について

前年度と同じく財調基金を繰入れた予算編成

谷仲 和雄

Q 2019年度予算編成について①予算編成の基本方針、②歳入歳出見通し、③(後年度)の予算編成を確保するための④一般財源抑制策、⑤新規事業のためのスクラップ&ビルドへの所見、5点を問う。

A 企画財政部長 ①予算編成の基本方針は原則、来年度中に見込まれる全ての経費を盛り込んだ通年予算とし、枠配分方式を採用する。

②歳入歳出の見通しは、普通交付税の減額及び扶助費・公債費等の義務的経費の増加見込みにより、歳入見込額が歳入見込額を上回る見込み。この歳入不足を補うため財政調整基金を繰入れた予算編成となる。

③一般財源抑制策は、各部署への枠配分対象経費※について、来年度中に見込まれる経費

の総額から4%を削減して配分する。

④予算の硬直性について、公債費負担比率が上昇しているが、扶助費の対応や新市建設計画に基づき継続中の整備事業を計画年度内に進める必要があるため、扶助費や公債費などの義務的経費による予算の硬直性は高まるものと想定する。

⑤新規事業の予算要求に当たっては、不要不急の事務事業の見直し及びスクラップ&ビルドの観点から、既存事業の見直し(廃止・縮減等)を前提とし、それにより捻出した一般財源を当該新規事業に充てるように努めているところ。

※扶助費・人件費・公債費・繰入金などの義務的経費と普通建設事業に要する政策的経費は、枠配分の対象外となることから、予算すべてにおいて一律4%削減を課す訳ではない。

ボランティア活動を支える公共施設の在り方は

活動に支障のないよう情報交換や連携を強化していく



福島 ヤヨヒ

Q 市と社会福祉協議会等指定管理者との役割分担は。四季健康館を例に、ボランティアの人々が元気に活動できるための環境整備は。

A 保健衛生部長 四季健康館は社会福祉協議会が指定管理者となり8年目で、ボランティア活動は年間約10団体延べ1500人が利用している。施設内の備品消耗品は社協が一括管理しているが、要望については速やかに繋いでいく。指定管理者制度導入に伴いボランティア活動に支障のないよう情報交換や連携を強化していきたい。

Q 備品台帳を整備し、年1回は点検・補充して欲しいが如何か。

A 保健衛生部長 これから進めていく。

Q 老朽化が進む公民館等公共施設の総合的管理計画は。

A 総務部長 長期的視点で更新、統廃合、長寿命化など、計画的に検討していきたい。

Q 直接税が減少する中、予算を一括4%カットする枠配分ではなく、メリハリのある予算編成を。消費税増税の場合も安易に利用料・使用料の値上げはしないで欲しい。

A 企画財政部長 厳しい財政状況の中、本市総合計画を実現するため、予算編成に取り組んでいる。

Q 貧困対策の一つの学習支援は。特段の配慮を。

A 福祉部長 貧困の連鎖の防止のため、小美玉市に居住している生活保護世帯の子供を含む生活困窮者の子供、今回は中学生を対象にした学習支援事業をH30年12月から開始する。

Q 男性の育児休暇の取得状況は。また、旧姓使用は。

A 総務部長 男性職員が育児休業を取得しやすい環境整備に努める。苗字の通称については今まで申し出がなかったが、女性活躍加速の重点方針にも挙げられているので、運用の条件整備に着手していきたい。

企業誘致対策活動の体制は

既存企業へ訪問し優遇制度等の情報提供をしていく



石井 旭

Q 市内の優良企業タカノフーズの子会社が、茨城中央工業団地に進出し、数年前には、ジャパンミットが茨城工業団地に移転し、危機意識を感じて企業誘致に取り組んでいるのか。

A 産業経済部長 既存企業関連会社や企業そのものが市内から転出しないような取り組みについて、危機感を持つて取り組んでいきたい。

Q シティプロモーション係と連携して魅力を感じるような制度をPRして企業誘致としては。

A 産業経済部長 商工観光課企業誘致係と連携をとり、市の知名度向上を図り、進出を希望している企業に本市が選ばれるような取り組みを行っていきたい。

Q 全国ヨーグルトサミットの次回開催地は決定したのか、また、寄附金や県からの補助金の確保は。

A 企画財政部長 次回

は「岡山県真庭市」で開催予定。寄附金は、市内外264名の方々より728万2千円の寄附をいただいた。また、県より開催負担金が200万円に増額され、開催実行委員会に交付された。

Q 全国ヨーグルトサミットの開催を契機に、参加していただいた「岡山県真庭市」をはじめとする自治体との友好交流都市の締結としては。

A 企画財政部長 ヨーグルトのつながりだけではなくさまざまな分野での交流や、災害支援協定並びに友好都市などの連携を進めていければと考えている。



▲ヨーグルトサミットは次の開催地へ



公共施設総合管理計画の進行管理状況は

計画的な管理と財政負担の軽減を目指す

長島 幸男

Q 管理(適正化)計画、基本方針について問う。

A 総務部長 長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化など計画的に管理を行う事により、財政負担の軽減、平準化と公共施設等の最適な配置の実現を目指す。

Q 計画の進行管理状況について問う。

A 総務部長 今年度より総務課が所管となり、実施体制の整理を行い、市長を本部長とする行財政改革推進本部を中心に進行管理体制を構築し、毎年度取り組み状況の確認や課題の整理などを行い、次年度へ繋げていきたい。

Q 今後の取り組みについて問う。

A 総務部長 施設等を所管する各関係部署と連携し、施設の種別ごとに計画の方針に基づき、施設の更新、長寿命化、統廃合などの検討を進め取り組んでいく。

【要望】

*方向性がまだ明確になっていない施設もあり、可能な限り早期に決定し、進めることが本市の財政健全化に繋がり、今後も維持して行く施設を適切に管理することで、安心・安全な施設利用にも繋がる。将来を担う若い世代に大きな財政負担を負わせないことが重要。持続可能なまちを目指して欲しい。



▲長期的な視点で公共施設の整備を

【その他の質問】

○防衛関連事業について
・今年度の交付金、補助金の額は、どのような整備、事業に充当されているか。
・防衛関連道路整備事業について

将来に向かって活気あるまちにするには

将来のあるべき姿に向けて一歩ずつ進んでいく

戸田 見成

Q 小美玉市都市計画について合併より10年が経っているので、全体の土地利用の見直しとしては如何か。

A 都市建設部長 市の第2次総合計画を踏まえ、土地利用構想に関して大幅な変更はないが、整合性を図ることが必要。今後、都市計画マスタープランを見直していきたい。

Q 当市では水道事業の問題点が考えられる。

- ① 石綿管の取替え
 - ② 施設の老朽化
 - ③ 人口減による需要の悪化
 - ④ 水道料金の格差 (湖北水道との差)
 - ⑤ 災害時における連携
 - ⑥ 経営の悪化
- 等が考えられ湖北水道と合併改善をしては。

A 水道局長 現在、策定中である中長期的な指針となる水道ビジョン並びに経営戦略をもとに、今後、各種の議論を進めていく。

Q 広域ごみ処理施設について

- ① 周辺の道路整備
- ② 白雲荘との地域の関係

③ 公害について
どのように考えているのか。

A 市民生活部長 周辺地域の方々にとって憩いや活力の場になるよう着実な事業進展を目指していく。

Q 教育行政について

- ① 市小中一貫教育学校の教育内容を充実できるか。
- ② 文化財の市民の高揚を図るべきであるか。

A 教育部長 魅力と夢のある学校になるよう整備を進めていく。積極的な情報発信に取り組み、文化財をよりよい状態で後世に継承し、様々な活用が図られるよう取り組んでいく。

Q 産業経済について
産業経済の振興を本気でやれるか。

A 産業経済部長 農業や住環境との調整を図りながら新たな企業誘致の適地を求め、物語性を持たせながら各法令等をクリア出来るよう、将来に向けて一歩ずつ進んでいきたい。

学校給食の無償化を求める

公平性も配慮し、かなりの公費負担をしている



植木 弘子

Q 「子育て、教育への投資」として、学校給食の無償化を求める。

A 教育部長 食料費は、年間総額2億2827万7千円で、内訳は保護者負担分として1億8791万8千円、市負担が4035万9千円その他施設維持及び運営費等1億8514万5千円が市の負担となっている。無償化の問題は、公平性にも配慮しなければならぬので、無償化とはいかないまでも、かなりの公費負担をしている現状をご理解いただきたい。

Q 自転車の安全な利用について、保険加入を行政として推進すべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 市長公室長 交通安全教室や市広報紙、チラシ等での交通ルールの遵守等とあわせ、自転車保険加入の普及啓発を促進し、市民の間

に保険加入の機運醸成を図っていく。

Q 精神・発達障害者への就労支援の取り組み、ワークステーションの開設について伺う。

A 福祉部長 市内には就労系サービス事業所が5カ所開設されており、就労系障害福祉サービスから一般企業への就職者数につきましては、平成29年度が4名、今年度は既に7名の実績があり、就労支援の環境整備とともに、着実にその効果を上げています。平成30年度からの就労定着支援サービスの創設により、職場定着の支援が始まっている。ワークステーションの開設については、サービス事業者との共存や一般就労の実績等をふまえた検証をはじめ、今後検討していきたい。

【その他の質問】

○市職員の防災訓練の実施状況について

羽鳥駅橋上化、周辺整備事業、駅前広場の進捗は

市HPや広報誌など周知徹底に努める



村田 春樹

Q 羽鳥駅橋上化、羽鳥駅周辺整備事業、駅前広場の進捗状況は。

A 都市建設部長 駅舎の鉄骨を組み上げていく鉄骨建方工事が概ね完了し、今後は自由通路東口側の階段と、その上部の屋根工事やトイレ、エレベーター等の設備工事などを実施していく予定。羽鳥駅東口市有地利活用については、11月22日に庁内関係所管と民間活力導入の実現性などについて協議したところだが、引き続き関係部署で課題を整理し、検討していく。

Q 橋上化に伴う駅前広場整備の際に、西口駅前広場の排水計画は。

A 都市建設部長 東西駅前広場の排水計画については、一定程度の降雨に耐え得る能力を持つ排水施設を整備するよう設計されている。

Q 一定程度の降雨に耐え得る能力とは。

A 都市建設部長 日本道路協会が発行している道路土工要綱に基づき、1時間当たり90ミリの降雨に耐え得る設計となっている。

【その他の質問】

○クールチョイス宣言の進捗状況
○庁内のウォームビズの実施率
○現在の小美玉市の温室効果ガスの割合、今後どのような目標を掲げているか。
○ウォームビズの今後の実施見通し



▲JR羽鳥駅とその周辺



外国人労働者への生活環境整備を

地域の一員として安心して暮らせるよう努める

幡谷 好文

Q 今後さらに増加していく外国人労働者への対応策を構築すべきと考えるが、市の所見は。

A 産業経済部長 必要に応じてアンケート調査などを実施し、良好な労働環境や生活環境につなげ外国人労働者が地域の一員として安心して暮らせるよう、市としてできる支援を全庁体制で取り組んでいく必要があると考えている。

Q 空き家問題対策として空き家バンク制度の運用が開始されたが状況は。

A 市民生活部長 本年10月に茨城県宅地建物取引業協会と空き家バンク登録物件媒介に関する協定を締結し、運用を開始した。今後本市の空き家の市場流通がさらに活発になると期待している。引き続き国や県の情報や、先進事例などを参考に對

応を進める。

Q ヨーグルトサミットが盛大に開催されたが、サミットに込められた思いを、今後どのように繋げていくのか。

A 企画財政部長 全国のヨーグルト産地が互いに交流、連携をし、今後の生産、販売体制の新たな構築を目指し、一丸となって取り組む。参加自治体との縁を広げ、交流や災害支援協定や友好都市などの連携を進めたい。



▲約3万9千人の来場者で賑わったヨーグルトサミット



ドローンを導入し行政全般で利活用すべき

積極的な導入に向け、その活用方法も考える

木村 喜一



▲今後の活用が期待されるドローン

Q ドローン導入へ向け、組織をまたいだ研究チームの速やかなる創設を。

A 市長公室長 導入に向けた実証実験など、今後ドローンの活用に向け、関係部署と調査研究していく。

Q 災害時に於ける情報収集、不法投棄対策及び監視、市内観光空撮、インフラ点検（橋梁や高架建築物）、道路計画や基本測量、耕作放棄地の把握等をドローン導入で望むが、市の考える活用方法は。

A 市長公室長 当面は、他機関との連携や専門事業者との協定によるドローンの導入、活用が最も実現性の高いものと考えている。



▲ねずみの形をした岡山県総社市のオリジナルナンバープレート



▲納豆の形をした水戸市のオリジナルナンバープレート

Q オリジナルナンバープレートの導入を。

A 総務部長 導入に当たって調査を行っている段階であり、まだ具体的ではないが、第2次総合計画に基づいた実施計画の策定に着手していきたい。

Q 形状やデザインは幅広く市民から公募で。

A 総務部長 市民に愛着を持ってもらえるよう、幅広い世代からの公募を考えていきたい。